

♡♡♡♡入居者インタビュー♡♡♡♡

「夢を追いかけて、それを実現する！」

・・・松本アイ子様 (74歳)

～自分で限界を作らない、まだまだできることがいっぱいある～



●自分で決めたやりたい夢を実現していく面白さ



文庫で子供たちに読み聞かせ

現役を引退して早くも10年が過ぎようとしています。定年退職前に“今後の人生で必ずやりたいこと”を3つ心に決めていました。①書道塾を開くこと、②自立型ホームに入居して安心を得る事、③「文庫」を開き、子供たちと大好きな絵本に触れ合うこと。入居して6年、①～③全て実現することができ、現在も進行中。夢が叶ったと幸せを噛み締めています。②については、両親の介護経験から、自分は身内に頼らず、早いうちに自立型ホームに入居して楽しく暮らすと決めていました。いくつもホーム見学をしましたが、その中で一番しっくりきたのが佐倉〈ゆうゆうの里〉。美しい里山、田畑とどのかな佐倉。地図を片手にウォーキングを楽しみました。入居以来、入居したことを後悔したことは一度もありません。逆に、早くに“居場所”を決めておいて良かったと思います。

●人生、“予想外の出来事”が本当に起こりました！

まだまだ元気、施設にお世話になるのはいつの事かしら…!?と毎日を楽しんで暮らしていました。そんな私の日常に、「まさか!!」が起こりました。交通事故に遭い、右足を骨折。救急搬送された病院で入院といわれましたが、「入院は嫌、〈ゆうゆうの里〉でやりたいことをやりながら暮らしたい」と希望し、施設サービスを受けることを前提に、自宅で療養生活をスタートしました。完治するまでに約3か月。振り返れば、骨折直後の杞憂は嘘のように、結構面白く、充実して過ごせたと思います。この間、食事の配膳やら入浴の介助やら、細やかなサポートを本当によくスタッフがやって下さいました。こんなにまでしてくれるの!?というプラスの驚きで、これから〈ゆうゆうの里〉で最期を迎えても安心、という気持ちにまでなりました。(といっても、私の家系は長生きですので、まだまだしっかり生きてます!)

●人と関わっていくのが天命だと思います

私は本当に人間が好き。友人たちも多く、食事会に出かけたり、自宅を訪ねてきてくれたりもします。人との触れ合いは、私にとって至福の時。そういう意味では、今でも本当に恵まれた環境にあると思います。幸せを感じることはたくさんありますが、中国のトレッキング中に、「松本先生！」と昔の教え子に声をかけられたこともその一つ。ものすごい確率の再会でした。50年前、シルクロードから始めた海外旅行も、あと11国を訪れば、100国制覇。元気で活動できる有難味を痛感した今、次なる海外旅行も企画しようと考えています。長年の夢であった、地域子供図書館「おひさま文庫」を開設でき、若いママたちや子供たちの生き生きした表情、笑顔、成長していく姿を目の当たりにできる幸福感は、まさしく私の原動力です。これからの未来を描く子供たちに何かをもたらせたら素敵だなという思いで、続けています。



教え子との再会は奇跡！



子供たちの成長を見守り、常にポジティブエネルギーを放っている松本さん。このエネルギーは、自ら毎日楽しく過ごそう、夢の実現に向けて歩んでいる(突進している)からこそ湧き出るものだと感じました。松本さんとお話をしていると、周りにいる私たちまで元気エネルギーをいただいている感じです。